

【報道関係各位】

2008 年 8 月 吉日

『ブラジル映画祭 2008』今年も開催！

～日本未公開の優秀作品を一挙公開～

開催期間： 10 月 10 日(金)・11 日(土)・12 日(日)・13 日(月・祝) 4 日間

開催場所： 表参道ヒルズ 本館地下 3F スペース【O:】(オー)

トゥピニキーン・エンターテイメント株式会社

トゥピニキーン・エンターテイメント株式会社(本社:東京都墨田区、代表:川合健司・田辺淳治)は、2008 年 10 月 10 日(金)～13 日(月・祝)までの 4 日間、表参道ヒルズスペース【O:】(オー)で『ブラジル映画祭 2008』(主催:ブラジル映画祭実行委員会)を実施いたします。

本映画祭は、ブラジル文化に対する認知度向上と、両国の文化交流を深めるために 2005 年から開催し、今年で 4 回目を迎えます。日本人ブラジル移住 100 周年を記念する今年、『ブラジル映画祭 2008』は「日伯交流年」の認定イベントとして、より多くの方にブラジル映画に触れていただくため、会場を表参道ヒルズに移し、森ビル株式会社の協力を得て開催いたします。

世界中の映画祭で注目を集めた話題作から、ひねりの効いたコメディ、ファン必見の音楽ドキュメンタリーまで、ブラジルの魅力が存分につまった日本未公開作品を揃えています。

- **日本未公開の長編 6 作品の他、計 12 作品を一挙上映**
長編の他、短編及びミュージック・クリップを 4 日間に渡って上映します。

- **来日ゲストを迎えてトークショーを開催**
ブラジルを代表するベテラン俳優、監督をゲストに迎え、ブラジル映画について観客と語る時間を設けます。

【来日予定ゲスト】

フランススコ・ラマーリョ・ジュニオル(上映作品『歌え、マリア』監督) *1985 年『蜘蛛女のキス』製作総指揮
パウロ・ベッチ(上映作品『カフンドー～ジョアオンの奇跡』監督) *20 年以上のキャリアを誇るブラジルの名優
※来日ゲストは事情による変更することがございます。予めご了承ください。

- **新設“カフェ・タイム”では短編映画&ミュージック・クリップを無料で上映**
 - ・ブラジルおよび世界で注目のブラジリアンアーティストのミュージック・クリップ
 - ・ポルトガル語を学ぶ大学生が短編字幕翻訳に挑戦
 - ・日本人ブラジル移民 100 周年を記念し、JICA 作成の日系 1 世のインタビュー映像

本件に関するお問合せ先 : トゥピニキーン・エンターテイメント株式会社

〒130-0015 東京都墨田区横網 2-6-2 3F

TEL: 050-6860-1079 / 03-5637-5469 FAX: 03-5637-5481

info@tupiniquim.jp / www.tupiniquim.jp / www.cinemabrasil.info

担当: 渡辺 * 画像データ、詳細な資料を用意しております。ご希望の方はお申し付けください。

ブラジル映画祭 2008 / Festival Cinema Brasil 2008 開催概要

期 間: 2008 年 10 月 10 日(金) ~ 13 日(月・祝) (4 日間)

会 場: 表参道ヒルズ スペース[O:] (オー) (総席数 300 席予定)

上映時間: 1 プログラム 約 2 時間 × 5 回 / 1 日 (※10 月 10 日は除く) ※詳細は別添チラシをご参照ください

主 催: ブラジル映画祭実行委員会(委員:トゥピニキーン・エンターテインメント株式会社、駐日ブラジル大使館)

特別協力: 森ビル株式会社(表参道ヒルズ)

協 賛: ジェイ インテル株式会社、プラステル株式会社、森ビル株式会社(表参道ヒルズ)、UCC 上島珈琲株式会社

協 力: カメイ・プロアクト株式会社、JICA 横浜海外移住資料館、日本映像翻訳アカデミー、hinode、B.W.P、ORIGEM

助成・支援: 国際交流基金、ブラジル連邦共和国外務省、文化庁「平成 20 年度国内映画祭支援」

後 援: 駐日ブラジル大使館

参画事業: 日伯交流年

字幕製作: 日本映像翻訳アカデミー

企画・制作: トゥピニキーン・エンターテインメント株式会社

(全て 50 音順)

ブラジル映画祭公式 Web サイト: <http://www.cinemabrasil.info>

【チケット】

券種料金: S 席 1 回券 一般	¥1,300 (前売り) / ¥1,500 (当日)
S 席 1 回券 学生・シニア	¥1,300 (前売り) / ¥1,300 (当日)
普通席 1 回券 一般	¥1,300 (前売り) / ¥1,400 (当日)
普通席 1 回券 学生・シニア	¥1,300 (前売り) / ¥1,300 (当日)
全 6 作品鑑賞券	¥6,000 (前売りのみ)
トリプルチケット 一般	¥3,700 (当日のみ)
トリプルチケット 学生・シニア	¥3,500 (当日のみ)

※ 全て消費税込み。

※ 2008 年 8 月 1 日から、ローソン、ファミリーマート、サークル K、電子チケットぴあで発売

【上映作品紹介】 ~荒削りの「ブラジル映画」の熱気が伝わる日本未公開の長編 6 作品~ ※日本語・英語字幕付

『カフンドー〜ジョアォンの奇跡』



2005 年 / 102 分 / ドラマ

“実在した聖人をテーマにブラジルのアフロ文化を描く意欲作”

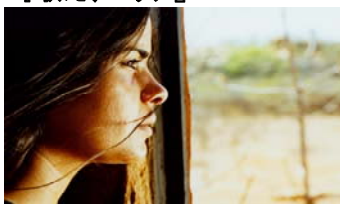
キャスト: ラザロ・ラモス (『コピーオペレーター』『マダム・サタン』)
フラヴィオ・バウラキ (『マダム・サタン』)
アレシャンドレ・ロドリゲス (『シティ・オブ・ゴッド』)

主な受賞歴

2005 年 グラマード映画祭 最優秀主演男優賞 最優秀撮影賞

2006 年 ラテンアメリカ映画祭 リエイダ(スペイン) 最優秀作品賞

『歌え、マリア』



2006 年 / 95 分 / ドラマ

“セルタオン(ブラジル北東部の乾いた大地)で運命に翻弄されるマリアの恋物語”

監督: フランシスコ・ラマーリョ・ジュニオル

『蜘蛛女のキス(1985)』製作総指揮

(カンヌ映画祭 & アカデミー賞主演男優賞受賞作品)

主題歌:

ブラジルのディーヴァ、ダニエラ・メルクリ(2007 年度ラテングラミー賞受賞)

『カルトーラ〜サンビスタの物語』

“生誕 100 年を迎えるサンバ界巨匠、カルトーラの超貴重ドキュメンタリー”



出演(インタビュー及びアーカイブ映像):

カルトーラ	ドナ・ジッカ
ベッチ・カルヴァーリョ	カルロス・カシャッサ
パウリーニョ・ダ・ヴィオラ	ピシギーニャ
ナラ・レオン	シコ・ブアルキ

2007 年/ 88 分/ ドキュメンタリー

『下水って、匂う。』

“尻フェチ男の妄想の世界、極上のブラックコメディ”



主演: セルトン・メロ (『クアトロ・ディアス』)

主な受賞歴

2007 年 サンダンス国際映画祭 国際コンペティション部門出品

2007 年 ブンタ・デル・エステ国際映画祭 正式出品作品

2007 年 リオデジャネイロ国際映画祭 最優秀長編映画賞

2007 年/ 95 分/ コメディドラマ **R-18**

『ミゲルとジョルジ』

“ブラジル格差社会を男の友情を通して鋭く描く”



脚本: パウロ・リンス (『シティ・オブ・ゴッド』 脚本)

主な受賞歴

2004 年 リオデジャネイロ国際映画祭 最優秀ラテンアメリカ映画賞

2004 年 ハバナ映画祭 最優秀音楽賞&最優秀編集賞

2005 年 マルデルプラタ映画祭 最優秀ラテンアメリカ映画賞&観客選出最優秀作品賞

2006 年 サンパウロ芸術批評家連盟賞 最優秀脚本賞

2005 年/ 102 分/ ドラマ **R-15**

『逆転夫婦!?』

“ブラジル TV 界を代表するベテラン俳優 2 人のコメディ”



ブラジル No.1 ヒット作コメディ 観客動員数 365 万人突破 (2005 年)

キャスト: トニー・ハモス
グローリア・ピレス

主なノミネート歴

2005 年 ブラジル映画アカデミー賞 (ブラジル文化庁選出) 6 部門ノミネート

2005 年/ 80 分/ コメディ

【短編&ミュージック・クリップ】 ※カフェ・タイムに無料上映

<短編>

ドラマ: 『バルボーザ』『金曜の夜、土曜の朝』

ドキュメンタリー: 『女と海』

アニメーション: 『パンツの歴史学』『愛しの我が家』『みみず』

<ミュージック・クリップ>

BR6(ベー・エヒ・セイス)/アントニオ・カルロス・ジョビン/ジョアン・ドナート/
パウラ・リマ/トッキーニョ&ヤマンドウ・コスタ 他

映画監督: 長澤雅彦氏からの応援メッセージ

(監督作品: 「夜のピクニック」「13 階段」「ココニイルコト」など)

“日本映画が小津の静謐な世界だけではないように、ブラジル映画も濃厚なサンバの世界ではないのは自明のことである。世界が多様なようにブラジル映画も多様なのだ。まずは観よう! 先入観を抜きにして。いや、先入観があったとしてもいい。とにかく観ることから始めよう。”